

令和6年度第4回日の出町立中学校校部活動の地域連携及び地域移行に関する協議会
論点整理

感想・意見・懸念事項等	集約・まとめ
○このロードマップは来年度以降のロードマップとして、実施しながら変更していくものである。	◆地域連携・移行の方向性
○学校教育が社会教育に変わっていくというイメージで第2ステージを意識しながらリスト（指導者名簿）などの作成を計画している。	◆地域連携・移行の方向性
○部活動地域移行について国全体としてふわっとしている。部活動に対してお金（予算）を増やしているが、各自治体で人は探さないということになっている。近隣で奪い合いが起こり各自治体で人材確保が大変。質をどう担保するかも重要。指導員が教員、生徒とトラブルになったりしている。方針をはっきり示すことが大切。体制の整備が必要で、それをするにはお金が必要である。	◆地域連携・移行の方向性
○前回までの話があってロードマップができたが、ここまで第3ステージまで出来たら日の出町はすごいと思う。まず1番は亜細亜大の学生に託すようになる。陸上部の子でもバスケをやったとか、音楽も好きとか、バンドを組んでたとかで、学生のいろいろな経験を生かしてくれるとありがたいと思っている。	◆生徒のニーズに応じた部活動運営
○音楽部が地域団体に教えてもらうとか、学校の部分を減らし、残った部分を地域移行できたらと思う。どこか始められるところを始めていくのが良い。第2ステージが2年続くこともあると考えられる。数年かけて良いものが出きれば良いなと思う。	◆生徒のニーズに応じた部活動運営
○予算は大切に、まず予算の確保が必要だと思う。	◆地域連携・移行の方向性
○子どもたちが自主的に活動していくという活動も良いと思ってる。素晴らしいと思ってる。子どものニーズも多様化しておりブレイクダンスやスケボーなどもやりたい子どもが出てくるのではないかなと思う。	◆生徒のニーズに応じた部活動運営
○昔は、男の子は野球など決まったイメージだが、今は新しいものも取り入れるのがよいが、小学生で頑張りすぎて燃え尽きてスポーツから離れてしまう子もいる。スポーツはそうではなくて、楽しむことでもやってほしい、スポーツを見るときか応援するとか、スポーツから離れてしまわない様にしていきたいと思う。何かしらのサポートはしてあげたいと思う。	◆生徒のニーズに応じた部活動運営

<p>○：フェジカルリテラシーという言葉があるが、子どもの時から体を動かすことの大切さ、マイペースとユアペース、自分のペースも大切にして、相手のペースも大切にする気持ちを育てる。大会を目指すのも良いが、自分のことも大切に思う、そういう指導も学ばないといけないと思う。経験を話すと子どもたちも伝わりやすい。</p>	<p>◆生徒のニーズに応じた部活動運営</p>
<p>○何を優先し、見守っていくのか。これまでと同じことが起こり、結局教員がみることになってしまう。それでもアスリートを育てるならクラブチームに入れば良いが、そうではない部活を考えるのであればある程度予算を付けて方向性を示しておかないといけない。</p>	<p>◆地域連携・移行の方向性</p>
<p>○うちのクラブでもやっている。やりたいというだけで時間など合えば関わっていきたい。部活の中なのか、外なのかで変わってくるが、何かしらで関わっていききたいとは思っている。</p>	<p>◆地域連携・移行の方向性</p>
<p>○私の知ってる人は、お祭りのお囃子に入っていて、そういうのも部活としてやるなら面白いと思った。奥多摩ではスキークラブがあり大人から子どもまでの参加でやっている。そういうのも日の出では作れるのではないか。</p>	<p>◆生徒のニーズに応じた部活動運営</p>
<p>○野球部や太鼓などいろいろある。e スポーツもある。これは第3ステージになると思う。学校の中にスキー部を作るわけにはいかない、減らしていかないとそれでは元に戻ってしまう。しかし0にはできないと思うので残ったものを教員で回していくことになるのではと思う。</p>	<p>◆地域連携・移行の方向性</p>
<p>○これを形にするには意識を変えていかないとできない。時代とともに要求から始まっているもの。学校教育の中の部活、地域スポーツクラブ、線がつながってきた。線と線をつなげて始めていくのは良いものができると思う。</p>	<p>◆地域連携・移行の方向性</p>

感想・意見・要望等の集約と論点整理

論点 1 日の出町立中学校部活動の地域連携及び地域移行の方向性

【考え方・捉え方】

- ロードマップは実施しながら必要に応じて変更していくもの。
- 人材確保等、質をどう担保するかが重要。方針を示すことが大切。体制の整備が必要で、そのためには予算が必要。
- 様々な地域団体の協力を得ながら、地域連携・地域移行を進めていく。

論点 2 生徒のニーズに応じた部活動運営

【考え方・捉え方】

- 子どものニーズも多様化しており、自主的な部活動など、柔軟な運営方法も検討する。
- 技術・戦術的指導のみならず、フィジカルリテラシーの視点からの指導なども大切にしたい。
- 現状の部活動以外に、日の出町の実態に応じたスポーツ・文化活動も検討していく。